

科目名		授業形態	担当教員名	
内部障害理学療法学 I		講義	酒巻 直美・鶴崎 太志	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
運動における循環系、代謝系の反応を復習し、内部障害について理解する。代表的な疾患である循環器疾患、糖尿病、慢性腎臓病、がん、等の病態、症状を理解し、包括的リハビリテーションの概念、評価、理学療法について学習する。				
授業の到達目標				
1. 循環系、代謝系の生理的反応を説明できる。2. 代表的な疾患の病態、症状、障害を説明できる。3. 代表的疾患の包括的リハビリテーション、理学療法について説明できる。				
回	内容			
1	内部障害総論			
2	不整脈・心電図の理解(1)			
3	不整脈・心電図の理解(2)・症候			
4	心臓リハビリテーションの概念			
5	心不全の理学療法(1)			
6	心不全の理学療法(2)			
7	虚血性心疾患の理学療法(1)			
8	虚血性心疾患の理学療法(2)			
9	糖尿病の理学療法(1)			
10	糖尿病の理学療法(2)			
11	糖尿病の理学療法(3)			
12	腎臓リハビリテーション(1)			
13	腎臓リハビリテーション(2)			
14	がんのリハビリテーション(1)			
15	がんのリハビリテーション(2) まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%	小テスト、または課題を実施する。課題提出の場合、形式や提出期限を守らない場合は減点する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
CrossLink理学療法学テキスト 内部障害理学療法学	解良武士 椿淳裕 (編)		メジカルビュー社	
自由記載	随時資料を配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	1年次の解剖学、生理学、内科学の教科書や講義録を参考にすること。			
備考				
1年次に学んだ解剖学、生理学、内科学の内容を復習して授業に臨むこと。				